

小学生がアサガオの命リレー

宇都宮
城山東小



「国際ソロプチミスト宇都宮」の黒田会長らに採取した種などを渡した児童たち

くさん咲かせた。アサガオは紫色やピンク色のきれいな花をた

い」と話していた。

種を他校にリレーしていく事業を実施している。同校では、昨年陽光小で採取された種を引き継ぎ、今年5月に種をまいた。子どもたちが毎日アサガオに声をかけながら水やりなどの世話を

をまいて増やしていきたい」と、田嶋彩乃さん(7)は「アサガオはお友だちと協力して育てた。光祐君のことを考えると悲しくて涙が出た。じいじがアサガオの花が好きなので、またいっぱい種をまいて育てて見せてあげたい」と話していた。

の種を配る活動が各地で行われている。市内では2011年から、女性や子どもたちの生活を向上させるために活動する「国際ソロプチミスト宇都宮」が、市内の小学校で子どもたちが種をまいて育て、採取した種を他校にリレーしていく事業を実施している。

「いのちのアサガオ」は1993年、白血病により小学1年生で亡くなった新潟県の丹後光祐君が大切に育てていたアサガオ。命の大切さを知ってもらいたいと、その花の種を配る活動が各地で行われている。

【宇都宮】駒生町の城山東小(宮井由美校長)で10月18日、1年生児童が「いのちのアサガオの種をプレゼントしようの会」を開いた。

「いのちのアサガオ」種引き継がれる

「いのちのアサガオ」

この日は、国際ソロ

一緒に鑑賞した。

阿部太陽君(7)は「毎

日学校に来てからすぐに

アサガオに水をあげて育

てた。アサガオの種の命

をリレーしていると思っ

た。来年もアサガオの種

をまいて増やしていきた

い」と、田嶋彩乃さん(7)

は「アサガオはお友だち

と協力して育てた。光祐

君のことを考えると悲し

くて涙が出た。じいじがア

サガオの花が好きなの

で、またいっぱい種をま

いて育てて見せてあげた

い」と話していた。